

① ^{ぶん}文を^よ読みながら「な・に・ぬ・ね・の」に○（まる）をつけましょう。

にほんのまんがかのごとうげこよはるさんは、たいしょうじだいをぶたいに、かまどたんじろうがおにになってしまったいもうとのねずこをにんげんにもどすためにおにとたたかうものがたりのきめつのやいばをえがいています。

ごとうげこよはるさんは、ちいさいときからえをえがくことがにがてでした。えがいたえをひとからわられるのがいやで、ひとにみせるのをためらうこともありました。

こうこうせいのおきに、はじめてじぶんでまんがをえがこうとしましたが、どうしていいかわからずになやんだじきもあったようです。

② それぞれの^{かな}仮名^{かず}の^{かぞ}数を数えて、^{すうじ}数字^かを書きましょう。

な	に	ぬ	ね	の
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

③ ^{なに}何^かについて書かれた^{ぶん}文^{おし}でしたか？教えてください。



..... 折り線

【子供向け】文章 - ひらがな版：仮名拾い（かなひろい）課題プリント その7 - な行編

答え ② な：2 に：12 ぬ：0 ね：1 の：9

③ 鬼滅の刃について書かれた文。など